

薬王品六箇の大事

第一 不如受持 此法華經 乃至一四句偈の事

御義口伝に云はく、法華經とは一經二十八品なり。一四句偈とは題目の五字と意得べきなり云云。

第二 十喻の事

御義口伝に云はく、十喻とは十界なり。山の下に地獄界を含めり、川流・江河に餓鬼・畜生を撰せり、日月の下に修羅を収めたり、凡夫人とは人間なり、声聞とは四向四果の阿羅漢なり、縁覚とは辟支仏中と説かれたり、菩薩は菩薩為第一と云へり、仏界は如仏為諸法王と見えたり。此の十界を十喻と挙げて教相を分別し、さて妙法蓮華經の於一仏乘より分別説三する時此くの如く挙げたり。仍って一念三千の法門なり。一念三千は抜苦与樂なり。

第三 離一切苦 一切病痛 能解一切 生死之縛の事

御義口伝に云はく、法華經の心は煩惱即菩提・生死即涅槃なり。然れば離解の二字は此の説相に背くなり。離の字をば明らむと読むなり。本門寿量の慧眼開けて見れば本来本有の病痛苦惱なりと明らめたり。仍って自受用報身の智慧なり。解とは我等が生死は今始まりたる生死に非ず、本来本有の生死なり。始覚の思縛解けたるなり云云。離解の二字は南無妙法蓮華經なり云云。

第四 火不能燒 水不能漂の事

御義口伝に云はく、火とは阿鼻の炎なり、水とは紅蓮の氷なり。今日蓮等の類南無妙法蓮華經と唱へ奉る者は此くの如くなるべし云云。

第五 諸余怨敵 皆悉摧滅の事

御義口伝に云はく、怨敵とは念仏・禅・真言等の謗法の人なり、摧滅とは法華折伏破権門理なり。今日蓮等の類南無妙法蓮華經と唱へ奉る者は是なり云云。

第六 若人有病 得聞是經 病即消滅 不老不死の事 文句の十に云はく、

観解を須ゆべしと。

御義口伝に云はく、若人とは上仏界より下地獄の罪人迄撰すべきなり、病とは三毒の煩惱なり。仏菩薩に於ては不老は釈尊、不死は地涌と顯はれたり。是は滅後当今の衆生を説かれたり。然れば病とは謗法なり。此の經を受持し奉る者は病即消滅疑ひ無きなり。今日蓮等の類南無妙法蓮華經と唱へ奉る者は是なり。